

製造業の景気動向（1）

『製造』の在庫循環は、「意図せざる在庫増」局面に接近
～ 12業種中10業種が悪化、自動車工場の減産や仕入単価の上昇が下押し ～

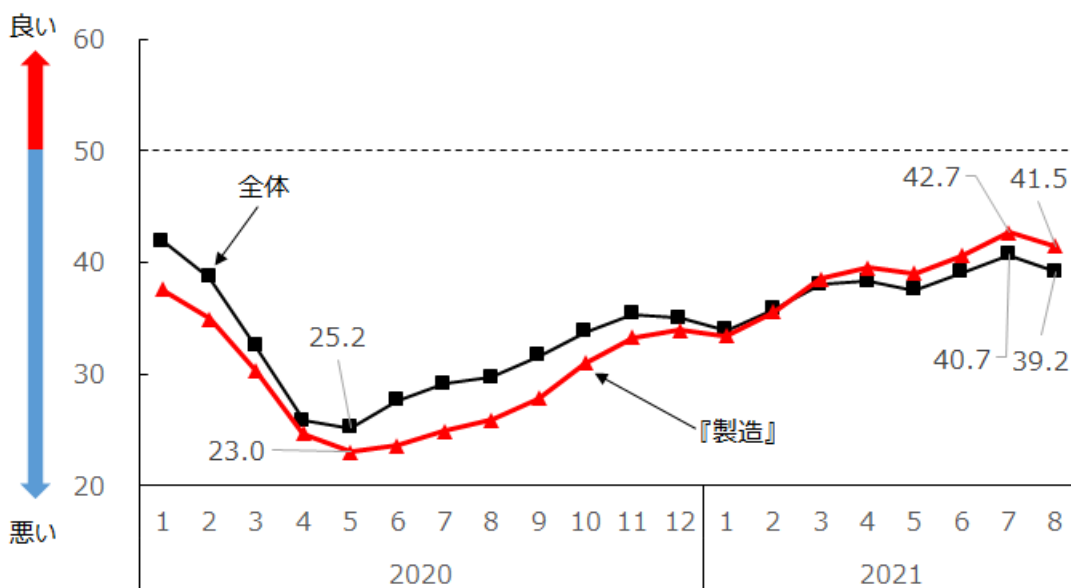
データソリューション企画部

杉原 翔太

【要約】

- 『製造』の景気DIは2020年5月以降持ち直しの動きが続いていたものの、2021年8月は3カ月ぶりに悪化した（図1）。業種別でも12業種中10業種が悪化した。半導体不足や東南アジア諸国での感染者数増加の影響により自動車の減産がみられるなか、自動車部品などの「輸送用機械・器具製造」が大きく悪化。また、金属・木材・燃料など材料価格の高騰がみられる「鉄鋼・非鉄・鋳業」や「建材・家具、窯業・土石製品製造」なども悪化した。
- 『製造』の生産・出荷量DIは全12業種で前月の水準を下回った。『製造』の在庫循環は「在庫積み増し」局面にあるものの、在庫DIの減少幅に比べて生産・出荷量DIの減少幅が大きかったことから、「意図せざる在庫増」局面へと接近した。今後、半導体不足などの要因によって自動車工場の減産の長期化や、海外経済の持ち直しの動きが弱まれば、在庫循環は早期に「意図せざる在庫増」局面、さらには「在庫調整」局面入りすることが懸念される。

図1 『製造』の景気DIの推移（2020年1月から2021年8月）

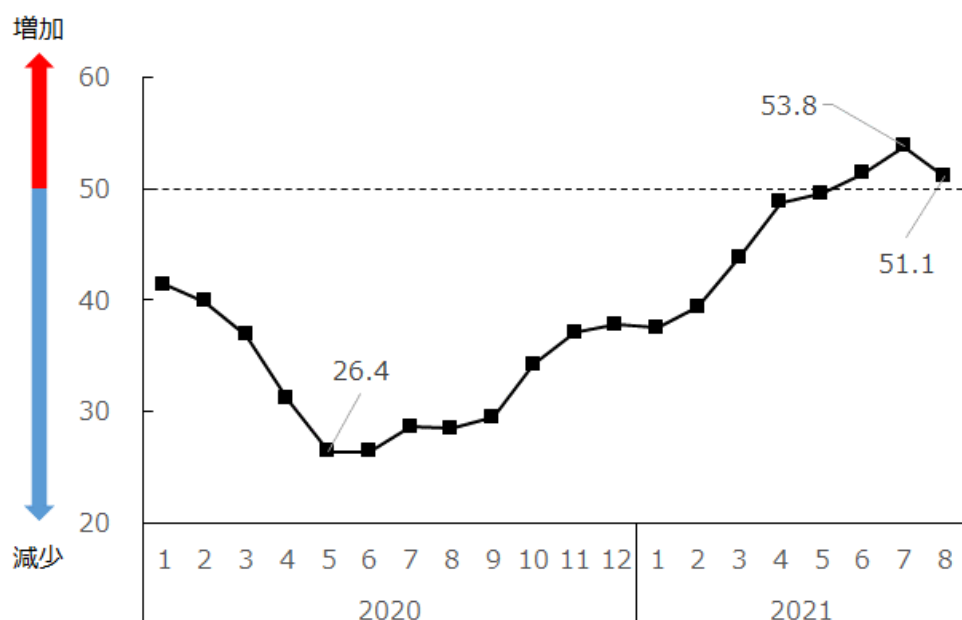


出所：帝国データバンク「TDB景気動向調査」

TDB 景気動向調査（2021年8月）の景気DIは前月比1.5ポイント減の39.2となり、3カ月ぶりに悪化した。2021年8月は、新型コロナウイルスの感染者数が再び増加傾向となったことに加えて悪天候による影響もあり、個人消費関連の業種が大きく落ち込んだ。一方、半導体関連や自動車などで輸出が戻りつつある『製造』においても、景気DIは41.5（前月比1.2ポイント減）と3カ月ぶりの悪化となった。半導体不足や東南アジア諸国の感染者数の増加などによる自動車の減産や、金属・木材・燃料など材料価格の上昇による影響があらわれている。そうしたなか、前年同月からの生産・出荷量の増減を表す『製造』の生産・出荷量DIは51.1（同2.7ポイント減）となり、2021年1月以来7カ月ぶりに悪化した（図2）。

そこで本レポートでは、景況感が悪化に転じた製造業について分析する。『製造』の業種別の景気DIの推移や、生産・出荷量DIおよび在庫DIから作成した在庫循環図、今後の仕入単価の上昇見込みなどを確認した。

図2 『製造』の生産・出荷量DIの推移（2020年1月～2021年8月）



注：生産・出荷量DIは、前年同月と比べて生産・出荷量が増加（減少）したかを尋ねている。
出所：帝国データバンク「TDB景気動向調査」

1. 『製造』の景気DIは12業種中10業種が悪化。自動車工場の減産や仕入単価の上昇が響く

『製造』の業種別景気DIを確認したところ、2021年8月は12業種中10業種が悪化した（表1）。半導体不足や東南アジア諸国での感染者数増加の影響により、自動車の減産による影響がみられた自動車部品などの「輸送用機械・器具製造」（48.2、前月比2.4ポイント減）が大きく悪化。また、金属・木材・燃料など材料価格の高騰の影響がみられる「鉄鋼・非鉄・鋳業」（45.1、同1.3ポイント減）や「建材・家具、窯業・土石製品製造」（41.2、同1.3ポイント減）も悪化した。特に、「鉄鋼・非鉄・鋳業」の仕入単価DIは72.5（同1.2ポイント増）となり、2020年8月（49.3）以来12カ月連続での上昇となった（表2）。

表1 『製造』の業種別景気DI（2021年8月）

	景気DI	前月比	前年同月比	2020年1月比
飲食料品・飼料製造	32.8	-2.7	2.3	-5.2
繊維・繊維製品・服飾品製造	29.3	-1.7	9.0	-1.2
建材・家具・窯業・土石製品製造	41.2	-1.3	11.4	1.3
パルプ・紙・紙加工品製造	36.6	-0.6	13.7	-0.7
出版・印刷	25.6	-1.8	6.8	-5.3
化学品製造	45.0	-1.3	17.2	6.0
鉄鋼・非鉄・鋳業	45.1	-1.3	21.5	8.8
機械製造	46.6	0.7	21.6	9.3
電気機械製造	45.9	-0.9	18.2	4.9
輸送用機械・器具製造	48.2	-2.4	24.0	8.8
精密機械・医療機械・器具製造	50.9	0.4	21.3	10.5
その他製造	33.9	-3.7	11.1	-3.0
全体	41.5	-1.2	15.6	3.9

出所：帝国データバンク「TDB景気動向調査」

表2 『製造』の業種別仕入単価DIの推移（2020年1月から2021年8月）

飲食料品・飼料製造	59.0	58.5	54.6	53.7	53.2	53.2	53.8	54.5	53.9	54.2	54.4	54.4	53.4	54.0	56.0	58.5	59.7	60.9	63.7	63.4
繊維・繊維製品・服飾品製造	56.2	56.3	55.0	55.0	52.2	52.2	52.3	51.5	50.8	52.4	51.3	52.8	52.7	54.1	55.5	58.4	56.4	58.0	58.1	59.3
建材・家具・窯業・土石製品製造	57.5	56.2	55.9	53.6	52.1	51.8	51.9	50.7	52.6	52.6	52.8	53.8	55.3	54.8	57.6	61.7	63.2	65.1	67.5	67.0
パルプ・紙・紙加工品製造	58.2	54.6	54.3	52.2	50.6	50.0	51.4	48.6	49.5	50.8	49.7	48.4	50.0	50.7	50.3	52.8	52.8	54.5	55.8	54.6
出版・印刷	58.4	57.4	53.9	52.2	51.1	51.2	50.9	50.8	49.8	50.6	50.0	50.8	50.0	50.3	51.4	51.9	52.8	52.7	53.9	52.8
化学品製造	54.4	53.8	52.9	51.2	49.4	48.8	49.3	48.5	49.1	48.8	49.6	50.9	51.2	52.9	56.5	59.6	61.9	64.6	66.2	66.8
鉄鋼・非鉄・鋳業	55.5	54.1	52.5	49.9	49.0	50.0	49.5	49.3	51.6	52.3	53.7	55.4	57.8	60.0	62.9	65.6	68.5	69.4	71.3	72.5
機械製造	56.3	55.5	54.4	52.9	51.7	51.8	51.3	51.6	51.2	51.8	52.4	52.7	54.1	54.8	57.8	59.3	60.7	63.1	65.3	65.2
電気機械製造	55.5	55.7	55.5	53.1	53.0	53.6	53.3	53.4	52.6	54.6	54.9	55.0	55.5	57.1	59.0	60.1	62.8	64.5	66.6	67.1
輸送用機械・器具製造	55.3	55.0	52.7	49.7	50.5	49.5	50.0	50.6	51.1	50.3	51.1	51.3	51.5	52.7	55.5	57.0	60.7	62.9	63.2	63.0
精密機械・医療機械・器具製造	56.4	54.9	53.7	54.7	51.2	51.1	50.7	51.9	51.2	54.2	52.3	53.3	54.1	51.1	53.3	55.1	59.4	60.0	61.7	63.4
その他製造	57.4	57.9	54.9	54.3	52.0	51.9	53.3	54.3	53.6	55.1	53.2	53.9	53.0	54.1	55.7	57.6	59.2	59.6	60.3	64.1
	2020年1月	2020年2月	2020年3月	2020年4月	2020年5月	2020年6月	2020年7月	2020年8月	2020年9月	2020年10月	2020年11月	2020年12月	2021年1月	2021年2月	2021年3月	2021年4月	2021年5月	2021年6月	2021年7月	2021年8月

注：仕入単価DIは、前年同月と比べて仕入単価が上昇（低下）したかを尋ねている。
出所：帝国データバンク「TDB景気動向調査」

また、飲食店向けや酒類製造が厳しい「飲食料品・飼料製造」（32.8、同 2.7 ポイント減）や、アパレルなどの「繊維・繊維製品・服飾品製造」（29.3、同 1.7 ポイント減）、広告出稿の減少やイベントの中止が続く「出版・印刷」（25.6、同 1.8 ポイント減）といった業種では、新型コロナウイルスが感染する前の2020年1月の水準を依然下回っている。他方で、12業種中7業種は2020年1月を上回る水準となっており、『製造』の景況感は業種により二極化している（表3）。

表3 『製造』の業種別景気DIの推移（2020年1月から2021年8月）

	2020年1月	2020年2月	2020年3月	2020年4月	2020年5月	2020年6月	2020年7月	2020年8月	2020年9月	2020年10月	2020年11月	2020年12月	2021年1月	2021年2月	2021年3月	2021年4月	2021年5月	2021年6月	2021年7月	2021年8月
飲食品・飼料製造	38.0	34.5	28.4	24.8	24.6	27.2	29.6	30.5	32.0	34.2	36.0	32.5	30.7	30.8	34.4	35.2	33.6	34.0	35.5	32.8
繊維・繊維製品・服飾品製造	30.5	29.3	23.2	16.7	17.7	17.9	19.8	20.3	23.5	24.7	26.8	26.1	24.5	26.0	26.8	28.7	29.2	29.3	31.0	29.3
建材・家具・窯業・土石製品製造	39.9	37.2	33.4	29.2	26.5	28.1	28.3	29.8	31.3	35.1	35.4	36.0	37.3	37.2	37.8	39.3	38.6	40.1	42.5	41.2
パルプ・紙・紙加工品製造	37.3	32.0	29.2	24.0	21.4	19.3	21.0	22.9	24.1	26.2	29.2	29.3	27.6	29.4	33.0	34.3	33.5	34.9	37.2	36.6
出版・印刷	30.9	29.7	23.1	16.8	14.4	16.0	15.8	18.8	20.4	21.9	22.7	21.8	20.2	22.2	26.0	27.2	24.2	27.1	27.4	25.6
化学品製造	39.0	35.8	32.1	27.5	25.3	25.9	27.3	27.8	31.1	34.4	37.7	39.3	38.0	40.9	43.3	44.2	44.3	44.5	46.3	45.0
鉄鋼・非鉄・鋳業	36.3	32.9	29.0	23.6	21.5	20.8	22.3	23.6	25.4	29.2	33.1	34.3	33.9	37.0	39.3	40.5	39.9	43.4	46.4	45.1
機械製造	37.3	35.4	31.1	25.3	23.6	23.5	24.6	25.0	26.5	29.1	31.7	33.5	33.6	36.9	41.2	42.1	42.2	43.7	45.9	46.6
電気機械製造	41.0	38.5	32.7	27.6	26.1	27.0	27.5	27.7	28.9	33.0	34.8	35.5	36.1	39.6	42.6	43.2	42.8	45.0	46.8	45.9
輸送用機械・器具製造	39.4	36.5	34.2	22.2	18.2	18.1	21.2	24.2	27.8	34.9	36.3	40.1	40.1	40.3	45.3	45.2	45.3	47.1	50.6	48.2
精密機械・医療機械・器具製造	40.4	39.0	34.8	27.2	26.3	28.6	28.1	29.6	30.2	32.7	35.5	37.1	37.9	42.4	44.6	45.6	48.7	49.1	50.5	50.9
その他製造	36.9	36.8	31.1	20.7	19.8	23.9	25.2	22.8	26.3	29.0	29.6	31.9	31.5	31.4	34.1	35.3	33.0	34.1	37.6	33.9

出所：帝国データバンク「TDB景気動向調査」

2. 『製造』の在庫循環は「在庫積み増し」局面も、「意図しない在庫増」局面へ接近

『製造』の生産・出荷量DIは全12業種で前月の水準を下回った（表4）。『製造』の生産・出荷量DIは、2020年1月時点で各業種ともに40付近で推移していたものの、新型コロナウイルスの影響を受け2020年5月、6月にかけて大幅に悪化した。

表4 『製造』の業種別生産・出荷量DI（2020年1月から2021年8月）

	2020年1月	2020年2月	2020年3月	2020年4月	2020年5月	2020年6月	2020年7月	2020年8月	2020年9月	2020年10月	2020年11月	2020年12月	2021年1月	2021年2月	2021年3月	2021年4月	2021年5月	2021年6月	2021年7月	2021年8月
飲食品・飼料製造	46.2	42.5	37.6	33.9	31.1	35.1	38.1	37.9	38.6	42.3	44.9	42.9	39.9	38.6	45.9	51.4	48.7	45.4	47.8	45.2
繊維・繊維製品・服飾品製造	38.6	38.4	33.6	30.6	25.2	23.6	25.2	26.0	29.5	29.7	32.5	34.0	33.5	34.6	34.3	41.3	42.6	45.9	49.7	43.7
建材・家具・窯業・土石製品製造	41.9	41.3	38.8	34.8	28.2	30.2	31.6	30.5	32.4	34.3	39.8	39.8	36.1	38.1	41.3	42.7	44.8	45.2	47.9	44.9
パルプ・紙・紙加工品製造	42.3	37.2	37.5	29.9	26.6	21.3	26.6	24.8	24.8	29.2	35.3	35.7	37.5	36.0	41.2	46.5	47.5	51.1	55.1	49.3
出版・印刷	42.1	41.8	36.0	23.2	19.3	21.2	22.3	22.9	23.4	28.2	30.5	31.0	30.5	29.2	34.8	41.6	44.3	46.7	46.4	43.4
化学品製造	42.4	41.5	38.9	34.8	30.2	27.5	30.4	31.2	32.6	38.4	42.0	44.0	42.1	43.9	48.9	52.7	54.1	56.1	57.6	54.3
鉄鋼・非鉄・鋳業	37.9	36.6	34.1	28.2	23.6	21.7	24.5	23.5	25.2	30.9	34.3	35.3	37.6	40.6	43.0	49.7	52.7	54.5	57.9	55.9
機械製造	38.9	38.2	36.1	31.7	25.7	25.5	25.5	25.9	26.4	31.0	31.8	33.6	35.2	39.0	43.0	48.3	47.5	51.0	55.2	53.2
電気機械製造	43.0	41.1	38.7	32.3	29.4	30.1	31.4	30.7	31.8	36.5	37.9	38.4	38.3	41.5	46.4	49.6	48.8	52.3	52.3	50.7
輸送用機械・器具製造	39.7	36.6	35.0	25.8	15.4	15.4	20.8	23.9	26.6	35.4	39.6	40.3	39.5	43.1	51.2	60.1	60.5	63.8	65.3	59.8
精密機械・医療機械・器具製造	44.4	45.7	41.0	31.8	28.4	30.9	35.1	31.6	29.2	34.0	41.6	38.5	42.2	45.7	50.4	52.7	57.5	59.1	58.3	57.8
その他製造	44.5	42.7	37.9	26.5	21.9	24.7	27.0	29.0	26.3	32.3	31.4	34.8	32.6	33.7	37.5	44.2	45.4	46.9	49.1	46.9

注：生産・出荷量DIは、前年同月と比べて生産・出荷量が増加（減少）したかを尋ねている。

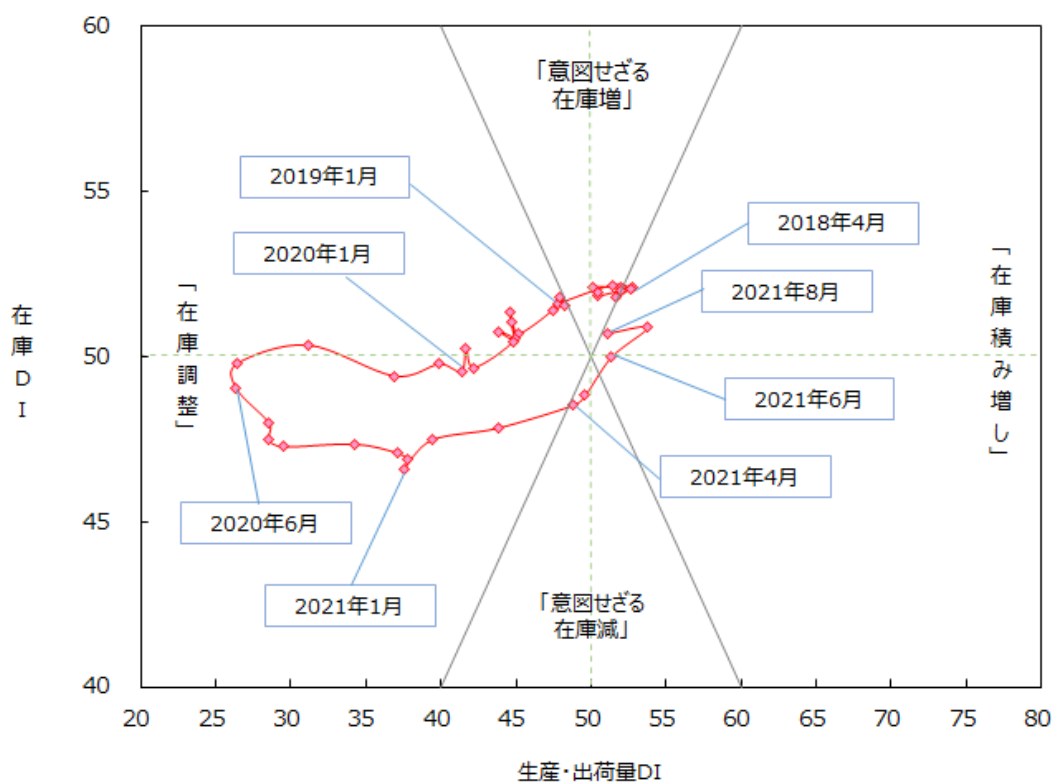
出所：帝国データバンク「TDB景気動向調査」

2020年7月以降は各業種で改善傾向となり、2021年7月は12業種中7業種で判断の分かれ目となる50を上回った。2020年の大幅な減少からの持ち直しという面はあるものの、2021年7月時点では「輸送用機械・器具製造」(65.3)、「精密機械、医療機械・器具製造」(58.3)、「鉄鋼・非鉄・鋳業」(57.9)などが高水準だった。

しかし、8月に入り生産・出荷量DIは全12業種で悪化。特に自動車工場の減産の影響がみられる「輸送用機械・器具製造」(59.8、前月比5.5ポイント減)や、段ボール箱製造などの「パルプ・紙・紙加工品製造」(49.3、同5.8ポイント減)などが大幅に悪化した。

企業からは、「東南アジアからの部品供給が滞り、業界全体の生産に調整がかかっている」(金属製品塗装)や、「国内外での新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、大手メーカーで減産となり受注が減少」(自動車駆動・操縦・制御装置製造)といった声が聞かれた。

図3 『製造』の在庫循環図(2018年4月から2021年8月)



注：生産・出荷量DI（横軸）は、前年同月と比べて生産・出荷量が増加（減少）したかを、また在庫DIは、在庫が前年同月と比べて増加（減少）したかを尋ねている。それぞれ50を上回ると増加、下回ると減少したことを示している。
出所：帝国データバンク「TDB景気動向調査」

そうしたなか、『製造』の在庫循環の状況を確認するため横軸に生産・出荷量DI、縦軸に在庫DIをとった在庫循環図を作成した(図3)。在庫循環は、景気の谷→「意図せざる在庫減」→「在庫積み増し」→景気の山→「意図せざる在庫増」→「在庫調整」→景気の谷・・・と反時計回りに循環する。『製造』の在庫循環は、2021年4月に「意図せざる在庫減」局面となり、6月には「在庫積み増し」局面に入った。

在庫循環は、米国の経済学者ジョセフ・キチンによって明らかにされたことで「キチンの波 (Kitchin Cycle)」とも呼ばれる。その循環はおおよそ 40 カ月周期とされており、図 3 でも 2018 年 4 月から 39 カ月後となる 2021 年 7 月に同じ「在庫積み増し局面」に戻っていることが確認できる。

しかし、2021 年 8 月に生産・出荷量 DI の水準は前月と比べて 2.7 ポイント低下した。『製造』の在庫循環は依然として「在庫積み増し」局面にあるものの、在庫 DI の減少幅に比べて生産・出荷量 DI の減少幅が大きかったことから、「意図せざる在庫増」局面へかなり接近した。

今後、半導体不足などの要因によって自動車工場の減産の長期化、海外経済の持ち直しの動きが弱まれば、在庫循環は早期に「意図せざる在庫増」局面、さらには「在庫調整」局面入りすることが懸念される。

まとめ

2021 年 9 月に入り、日本の新型コロナウイルスの感染者数は減少傾向がみられるものの、世界全体では増加傾向が続いている。また、海上コンテナの不足や半導体不足、金属や木材などの材料価格の上昇といった要因も依然として継続している。

TDB 景気動向調査 (2021 年 8 月) と同時に調査を実施した「新型コロナウイルス感染症に対する企業の意識調査 (2021 年 8 月)」によると、1 年後に仕入単価が上昇すると見込む企業は、『製造』が 78.4% と 10 業界で最も高い割合となった (表 5)。業種別でも、全 12 業種中 11 業種で上昇すると見込む割合が 70% を上回っている。特に、「精密機械、医療機械・器具製造」(86.4%) や「電気機械製造」(83.2%) などでは、上昇すると見込む割合が 8 割超となっている。

『製造』の在庫循環は現状「在庫積み増し」局面にあるものの、「意図せざる在庫増」局面へ接近している。輸出入など海外と取引する企業が多い製造業は、国内外での新型コロナウイルスの影響や、材料など仕入単価の上昇といった影響次第で、今後景気の持ち直しの動きが弱まることが懸念される。

表5 『製造』の1年後における仕入単価の見込み（2021年8月）

『製造』12業種	上昇 (%)	低下 (%)	一年後の仕入単価DI	現在の仕入単価DI
飲食品・飼料製造	76.6	6.7	66.7	63.4
繊維・繊維製品・服飾品製造	78.4	4.3	66.8	59.3
建材・家具・窯業・土石製品製造	75.0	7.9	67.7	67.0
パルプ・紙・紙加工品製造	74.0	4.0	64.2	54.6
出版・印刷	63.0	5.8	61.5	52.8
化学品製造	80.7	4.6	68.0	66.8
鉄鋼・非鉄・鋳業	79.3	5.1	70.1	72.5
機械製造	82.8	2.3	69.3	65.2
電気機械製造	83.2	2.3	71.1	67.1
輸送用機械・器具製造	63.4	5.4	65.3	63.0
精密機械・医療機械・器具製造	86.4	0.0	70.2	63.4
その他製造	86.5	1.1	70.8	64.1
『製造』全体	78.4	4.4	68.2	65.3

注：「上昇 (%)」および「低下 (%)」は、仕入単価が2021年8月時点から1年後に「非常に上昇（低下）する」、「上昇（低下）する」、「やや上昇（低下）する」割合の合計。

出所：帝国データバンク「新型コロナウイルス感染症に対する企業の意識調査（2021年8月）」

【 問い合わせ先 】

株式会社帝国データバンク データソリューション企画部 産業データ分析課

杉原 翔太

03-5775-3163 keiki@mail.tdb.co.jp

帝国データバンクで毎月実施している TDB 景気動向調査にご協力いただける企業さまは、こちらから登録できます（スマートフォン等をお使いの方は QR コードからも可能です）。

<https://www.tdb-di.com/ent/rent.html>



当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。